

## PRESS RELEASE

2008年8月28日  
株式会社インターネットイニシアティブ

### IIJ、送信ドメイン認証機能を実装するメールフィルタプログラムを無償公開

-- インターネット協会と協力し、送信ドメイン認証技術の普及に貢献 --

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、メールシステムに送信ドメイン認証技術「SPF/Sender ID」<sup>(\*)1</sup>を実装するメールフィルタプログラムを独自開発し、オープンソースとして無償で公開いたします。これにより、企業やISPへの導入を促し、送信元を詐称した迷惑メールへの対策として有効な送信ドメイン認証の普及拡大を目指します。公開にあたっては財団法人インターネット協会(IAJapan)と協力し、以下のサイトにてプログラムを提供開始いたします。

#### ■ 公開サイト

<http://sourceforge.net/projects/enma/>

#### ■ 公開内容

- ・ SPF/Sender ID 認証用ライブラリ
- ・ 上記ライブラリを利用した Sendmail/Postfix 用のメールフィルタプログラム

送信ドメイン認証の導入には、メール送信側と受信側両方での対応が必要で、特に SPF/Sender ID では送信側の対応が容易なことから、送信側を中心として普及が進んでいます。しかし、受信側では別途メールフィルタプログラムが必要になるなど、導入が容易でないことが普及を促進する上での妨げとなっていました。また、現在提供されているメールフィルタプログラムは、オープンソースの場合には動作が不安定であったり、商用製品の場合には導入コストがかかるなど、企業やISPが SPF/Sender ID を導入する上で課題をかかえていました。

今回提供するプログラムは IIJ が独自に設計から開発までを行っており、IIJ の厳しい商用サービス環境下でも安定的に稼動する高品質なメールフィルタプログラムです。これを無償公開することで、従来かかっていた課題を解決し、受信側での SPF/Sender ID の導入促進に貢献します。さらに、インターネット協会と連携してサポートや付随するドキュメントの提供を行っていくことで、一般企業からサービス事業者まで幅広い環境で利用いただくことを目指します。

IIJ では、2005 年より送信ドメイン認証を社内環境で試験的に導入し、早くから送信ドメイン認証技術の評価・実験を行ってきました。2006 年には、自社開発のメールフィルタプログラムを個人向けサービス「IIJ4U」に適用し、SPF の認証結果を元にしたフィルタ機能を提供開始しました。また、法人向けメールセキュリティゲートウェイ「IIJ セキュア MX サービス」においても、SPF と DKIM<sup>(\*)2</sup>の認証結果を付加する機能を実装するなど、順次、送信ドメイン認証技術を自社のメールサービスに導入しています。今後は、DKIM に対応したメールフィルタプログラムの公開をはじめとして、企業やISPの要求仕様にあった機能を随時強化していくことで、送信ドメイン認証技術のさらなる普及に貢献します。

なお本発表に際して、財団法人インターネット協会(IAJapan)様より以下のとおりエンドースメントをいただ

いております。

財団法人インターネット協会では、2004 年から迷惑メール対策委員会を設置し、迷惑メール対策技術の普及や法制度改善に尽力してきました。このたびの IJ からメールフィルタプログラム無償公開は、技術的対策の推進にさらに弾みを付けるものとなるでしょう。また、オープンソースとしての公開も高く評価します。今後のプログラムの発展に際しても、IJ や当協会関係者のみならず、多くの方々に参画いただき、日本国内のみならず、国際的な成果を上げるであろうことを期待します。

財団法人インターネット協会 副理事長 高橋徹

IJ では安全なメッセージング環境の構築に向けて、今後も最新技術の研究・開発に取り組んでまいります。

(\*1) SPF/Sender ID :

IP アドレスベースの送信ドメイン認証技術。送信者のドメイン名から DNS 上の送信メールサーバ情報を取得し、直近の送信メールサーバの IP アドレスが含まれているかを調べることによって、送信メールのドメイン認証を行なう。SPF (Sender Policy Framework) は米 Pobox.com の創設者 Meng Wong 氏が作成し、Sender ID は米 Microsoft 社の「Caller ID for E-Mail」技術と「SPF」を統合した技術。

(\*2) DKIM:

電子署名ベースの送信ドメイン認証技術。送信側がメールに付加した電子署名を受信側で照合することで、メールの正当性を検証し判別する。米 Cisco Systems 社が提唱していた「IIM」(Identified Internet Mail)と米 Yahoo!社が提唱していた「DomainKeys」を統合したもの。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 富永、川上

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp) URL: <http://www.ij.ad.jp/>